

## 法

## 規

- [1] 次の文は、電波法に規定する「無線局」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局とは、無線設備及び の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。」

1. 無線局を運用する者
2. 無線設備の操作を行う者
3. 無線通信を行う者
4. 無線設備の所有者

- [2] 次の文は、ATCトランスポンダが、その航空機の航行中における通常の状態において合致しなければならない条件に関する無線設備規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「 からの質問信号を受信することによって、応答信号を自動的（特別位置識別パルスにあつては、手動により発射が開始されるものとする。）に送信することとなるものであること。」

- |        |        |
|--------|--------|
| 1. タカン | 2. ILS |
| 3. SSR | 4. VOR |

- [3] 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、次のうちから選べ。

1. 携帯する。
2. 無線局に備え付ける。
3. 通信室内に保管する。
4. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。

- [4] 総務大臣は、電波法の施行を確保するため特に必要がある場合において、無線局に電波の発射を命じて行う検査では、何を検査するか、次のうちから選べ。

1. 送信装置の電源の変動率
2. 電波の変調度
3. 無線従事者の無線設備の操作の技能
4. 発射する電波の質又は空中線電力

- [5] 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. その無線局の免許人にその旨を通知する。
2. 総務省令で定める手続により総務大臣に報告する。
3. その無線局の電波の発射を停止させる。
4. その無線局の免許人を告発する。

- [6] 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どのようにしなければならないか、次のうちから選べ。

1. 直ちに届け出る。
2. その旨を報告する。
3. 再免許を申請する。
4. 免許状の訂正を受ける。

## 法

## 規

〔7〕 次の文は、呼出符号の使用の特例に関する無線局運用規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空局又は航空機局は、連絡設定後であってのおそれがないときは、当該航空機局の呼出符号又は呼出名称に代えて、総務大臣が別に告示する簡易な識別表示を使用することができる。ただし、航空機局は、航空局から当該識別表示により呼出しを受けた後でなければこれを使用することができない。」

1. 途絶
2. 混同
3. 妨害
4. 混信

〔8〕 次の文は、ノータムに関する通信の優先順位についての無線局運用規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「ノータムに関する通信は、緊急の度に応じ、 に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。」

1. 遭難通信
2. 緊急通信
3. 無線方向探知に関する通信
4. 航空機の安全運航に関する通信

〔9〕 義務航空機局がその航空機の航行中において運用しなければならない時間は、次のどれか。

1. 常時
2. 随時
3. 適当な時間
4. 必要とする時間

〔10〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするとき、応答事項の次に送信する略語は、次のどれか。

1. OK
2. 了解
3. どうぞ
4. 送信してください

〔11〕 航空機の緊急の事態に係る緊急通報に対し応答した航空機局のとるべき措置は、次のどれか。

1. 直ちに緊急の事態にある航空機を運行する者に緊急の事態の状況を通知する。
2. 直ちに付近を航行する航空機の航空機局に緊急の事態の状況を通知する。
3. 必要に応じ、当該緊急通信の宰領を行う。
4. 直ちに航空交通管制の機関に緊急の事態の状況を通知する。

〔12〕 121.5MHzの電波の使用が許される場合として無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 121.5MHz以外の周波数の電波を使用することができない航空機局と航空局との間に通信を行うとき。
2. 気象の照会のため航空局と航空機局との間に通信を行うとき。
3. 時刻の照会のために航空機局相互間において通信を行うとき。
4. 電波の規正に関する通信を行うとき。